

町田地区保護司会だより

第121号

発行 町田地区保護司会
会長 中里 真二
編集 広報 部
TEL 042(794)6791



【可喜庵】 この地は柿が特産品で庭にも大きな柿の木が五本ありました。
可：それでよいこと 喜：よろこび・慶事を表すことから可喜庵と名付けられたそうです。



ご 祝 辞

町田市教育委員会 教育長 小池 慎一郎

「町田地区保護司会だより」第121号の発行を心からお喜び申し上げます。

町田地区保護司会の皆様には、日頃から犯罪や非行の防止活動を通じ、町田地域社会の安全と安心の実現にご尽力いただき、深く感謝申し上げます。

さて、町田市教育委員会では、2024年3月に「町田市教育プラン24-28」を策定いたしました。新たな教育目標として「自ら学び、あなたと学び、ともに創る町田の未来」を掲げ、目標実現に向けた重要な要素として、「学び続ける力」を基本方針、各施策、重点事業に組み込み、取組を進めているところです。

町田地区保護司会の皆様におかれましては、「社会を明るくする運動」町田市推進委員会の一員として、町田市地域の明るい社会づくりに多大なる貢献をいただいています。今後とも町田市のよりよいまちづくりのためにお力添えをいただければと思います。

結びに、町田地区保護司会の益々の発展と、会員の皆様の更なるご活躍を祈念いたしまして、挨拶とさせていただきます。

1月24日、レンブラントホテル東京町田において「新春の集い・表彰状伝達式」が開催されました。本会の新年を祝う恒例行事であり、今年も多くのお客様と会員の皆様に参加し、終始和やかな雰囲気の中で進行了しました。当日の参加者は合計79名で、内訳は来賓11名、会員55名、桐友会13名でした。

【第1部】表彰状伝達式

18時、司会の木目田副会長の進行により開会。中溝副会長による開会の辞の後、中里会長が新年の挨拶を述べました。中里会長からは、関係者の皆様への日頃の感謝の言葉とともに、サポートセンター町田の移転についても触れられ、今後の活動に向けた意気込みが語られました。

続いて、各種表彰が行われました。令和6年度の受表彰者に記念品が贈呈されました。表彰状の伝達は、東京保護観察所立川支部長・土公千鶴様、東京更生保護施設連盟前副会長・根本英男様より行われ、受表彰者のこれまでのご貢献に表彰状が贈られました。

その後、来賓の方々から祝辞を頂戴しました。東京保護観察所立川支部長・土公千鶴様をはじめ、町田市長・石阪丈一様、町田市議会議員・木目田英男様、南大沢警察署長・堀口栄二様、町田地区桐友会会長・石川洋一郎様より、それぞれの立場からのご挨拶があり、保護司の皆様への慰労とともに、活動への温かい激励の言葉が贈られました。

【第2部】祝宴・懇親会

休憩を挟み、総務部の神蔵副部長の司会により第2部が開宴しました。鶴舞会施設長・根本英男様のご発声で乾杯が行われ、歓談の時間へ。参加者同士が親睦を深め、今年1年の抱負や今後の活動について和やかに語り合いました。

また、恒例のお楽しみ抽選会も実施され、会場は一層の盛り上がりを見せました。豪華景品が用意され、当選者には歓喜の聲が上がる場面も見られました。

閉会の前には、鈴木副会長による余興が披露され、会場は大いに盛り上がりました。見事な演技に拍手喝采が送られました。最後に、鈴木副会長の閉会の辞をもって、新春の集いは盛況のうちに幕を閉じました。

本年も、町田地区保護司会は地域の更生保護活動に尽力してまいります。会員の皆様のご協力を賜りながら、より良い社会の実現に向けて活動を進めていきましょう。

(広報部 市村 善明)



中里会長挨拶



石阪市長挨拶



鈴木副会長の余興

新春の集い。 表彰状伝達式



堺分区



忠生分区



町田分区



鶴川分区



南分区・鶴舞会

令和6年度 受章者・表彰者名一覧

秋の叙勲 野口 リヨ
 春の褒章 小宮 長治
 紺綬褒章 田中 公夫
 法務大臣表彰
 桐生 敏子・中満 孝夫・梅木 信一
 吉川 和男・青柳 さつき・橋田 恵子
 全国保護司連盟理事長表彰
 矢口 昇・中満 珠枝・中島 寿子
 関東地方更生保護委員会委員長表彰
 長嶺 敦・市村 善明・神蔵 宗
 宮野入 隆史・井上 淳子・神蔵 孝司
 都築 佐枝子・香田 裕子・吉川 達也
 関東地方保護司連盟会長表彰
 杉山 勲・青木 伸太郎
 東京保護観察所長表彰
 榎本 茂生・河合 正行・田林 久嗣
 廣田 昇克
 東京都保護司会連合会会長表彰
 友井 徹・馬場 敦・圓城 知道
 山下 文子
 東京保護観察所長感謝状（家族功労）
 根本 秀代・宮本 未知代
 東京保護観察所長感謝状（民間協力者）
 廣瀬 哲夫
 全国更生保護法人連盟理事長表彰
 千田 章一
 東京更生保護施設連盟会長表彰
 中里 真二

やちまた
管外研修「八街少年院見学」
研修部 手塚 圭子

9月30日、町田地区保護司会で管外研修に出掛けました。雨模様の天気の中、参加者32名で大型バスに乗り込み出発。途中、千葉県佐倉市の佐倉ふるさと広場に到着した頃は雨もあがり、オランダ風車の建つ花畑の散策を楽しみました。八街市に入って昼食をとり、研修



佐倉ふるさと広場

先の八街少年院に到着。平成8年に改装工事をしたそうですが、寮舎にはエアコンが無く、近年の夏の暑さを考えると厳しい環境です。

八街少年院は、GMaCという「自尊感情を高めさせ、肯定的な思考・態度を身に付けさせるための動物介在活動プログラム」を日本で初めて実施しました。虐待や飼育放棄から人間不信になってしまった保護犬の訓練をすることで、少年たちの自己肯定感を育み自他を傷つけない生き方を学ばせるそうです。少年たちは責任感と忍耐力を学び、犬は適切な愛情としつけにより殺処分を免れる。自分の行動が社会に役立っていることに実感を覚え、更生して戻ってきてほしいと思います。



管外研修八街少年院見学

帰路の途中、海ほたるで休憩。バスの中では中里会長のクイズで盛り上がりました。皆さまお疲れ様でした！

第Ⅱ期地域別定例研修を終えて
研修部長 名取 紀美江

9月20日、第Ⅱ期地域別定例研修を18時から町田市民フォーラムにて開催しました。夜の開催は初めての事です。地域別定例研修は、保護司にとってとても大切な研修です。ですが、年々出席者が少なくなっているのが現状です。

そこで前年度、研修部は定例研修のあり方についてのアンケート調査をしました。その結果、「時間と場所を変えて」という回答もあり、それを受け今年度の第Ⅱ期を夜に開催することにしました。



秋月統括保護観察官

当日の出席率は、72%、昼間の開催と出席率を比べるとそれほど差はありませんでしたが、昼間来られない方たちの出席がみられました。また、この時間の開催はありがたいという声もいただきました。

保護観察官の協力のもと無事に終えることができました。ありがとうございました。

夜の開催を継続できればと思っています。今後ともご理解とご協力をよろしくお願い致します。



市民フォーラムにて

桐友会・保護司会連絡協議会開催
忠生分区 小山 洋子

11月12日、ホテル町田ヴィラにて桐友会から15名、保護司会より15名が参加して連絡会が行われました。年に一度の情報交換として保護司会からは、保護司を取り巻く環境の変化と活動状況を報告しました。桐友会の皆様には、日頃より心掛けていますことや、趣味のお話を頂きました。桐友会の皆様方の前向きで、元気なお姿に勇気付けられているひとときでした。



ホテル町田ヴィラ

第6ブロック協議会に参加して 南分区 白岩 満智子

今年度は西多摩地区保護司会が当番地区となり、10月16日に羽村市「生涯学習センターゆとろぎ」で開催されました。協議会は「“社会を明るくする運動”について考える」でした。

当地区は中里会長を始め、副会長、各部長以下、分区から各2名ずつ選出された委員の方たち総勢19名で「現状、成果と今後の課題」について話し合い意見をまとめて発表しました。

他地区での取り組みの中に、YouTubeやFMラジオの活用、DVDを作成し中学校への出前授業を行っているなど時代に合わせた新しい取り組みの報告もあり、参考になりました。

“社会を明るくする運動”は、保護司の使命達成のための重要な活動であり、関係団体な



第6ブロック研修会



発表者 原 康之保護司

どを巻き込み、これまでの成果を引き継ぎながらも、継続していくことが必要となりました。

終了後の懇親会でも参加された方たちとの活発な意見交換があり、とても意義でした。

令和6年度多摩連受賞者祝賀会

副会長 鈴木 幸夫

11月27日、八王子J:COMホールにおいて令和6年度東京都更生保護事業関係者顕彰式典が開催されました。式典では清興、開会の言葉、国歌斉唱、天皇陛下のお言葉奉読、式辞があり当地区からは、瑞宝双光章の野口リヨさ

ん、藍綬褒章の小宮長治さんを始め33名の方が受賞されました。受賞された皆様には心よりお祝い申し上げます。

12月13日には、ホテルエミシア東京立川において、多摩地区保護司会連絡協議会主催の東京都更生保護事業関係者受章祝賀会が東京保護観察所所長、立川支部長、東保連会長、更女会のご出席を頂き、秋の叙勲受章者、春の褒章受章者、法務大臣賞受章者、全国保護司会連盟理事長表彰受賞者の皆様をはじめ多摩連関係者の出席があり、前田会長、ご来賓の挨拶があり、受章者紹介、記念撮影で第一部が終了しました。

第二部では、受章者対象の抽選会が盛大に開催されました。



多摩連受賞者祝賀会 集合写真

秋の叙勲



忠生分区

野口 リヨ

このたび秋の叙勲において、思いがけず瑞宝双光章を受章させて頂きました。不安を抱きながらのスタートでしたが、これまで28年間で何とか無事に過ごすことができました。これもひとえに皆様からご指導とご協力を頂いたお陰だと思えます。ありがとうございました。

秋の社明広報活動

堺分区 諏訪 賢一

昨年も堺分区では10月13日に、秋の社明広報活動として「相原ふれあいフェスティバル2024」が相原中央公園で開催され参加しました。

今回も保護司活動のチラシに、ボールペンやウェットティッシュを添えて来場者に配布しました。また、子ども向けに保護司会



広報活動

の名入り風船を手渡して、喜んでもらえました。会場では、70以上の団体の模擬店・展示・イベントの他、舞台では各種団体のダンスや演奏などがあり大変な賑わいを見せていました。今回も中里会長からの激励を頂きました。昨年の来場者数は、17,500人超との報告がありました。



相原ふれあいフェスティバル

今後も相原町最大のイベントが地域のコミュニケーションの場として発展し、今年も参加し地域を盛り上げていければと思います。

社会参加活動

忠生分区 原 康之

令和6年11月24日、忠生分区恒例行事の社会参加活動として、15回目となる忠生公園内の清掃作業を行いました。

当日は、お天気にも恵まれ、井澤祐美保護観察官・中里真二会長をはじめ保護司の15名、さらに対象者・町田市役所・町田警察署・町田地区更生保護女性会・BBS会の皆様にも参加して頂きました。合計24名と大変人数も多かった為、駐車場側から中央広



忠生公園清掃活動

場を中心に広範囲の清掃活動ができました。

清掃活動を行うことにより、公園が綺麗になることはもちろんですが、私たちの心も綺麗になったように感じます。気持ちが良く、とても有意義な活動でした。こうした活動が地域の安全・安心につながります。今後も犯罪のない街になることを願い、活動を続けていきたいと思っています。



反省会

第30回鶴川地区地域懇談会・講演会

鶴川分区 吉川 和男

11月16日、鶴川市民センターで、「第74回“社会を明るくする運動”第30回鶴川地区地域懇談会・講演会」が開催され、77名の参加を頂きました。

鶴川第二中学校PTA神田会長の司会で始まり、開会の辞は中溝孝夫鶴川分区長、続いて中里真二会長より挨拶があり、東京保護観察所立川支部烏海理瑛子主任保護観察官からは来賓挨拶を頂きました。



来賓挨拶 烏海主任官

次に、法務省で制作した「大切なこと」保護司と少年の実話エピソードを上映しました。

講演は、東京法務局多摩西人権擁護委員協議会の榊かおる会長から「子どもの心に響く人権教室」についてのお話がありました。

榊会長は15年間の長きに渡り人権教室を担当され素晴らしく工夫された各種教材を使用し、とてもわかりやすい人権教室の講師です。子どもたちは「自分が言われてイヤなことは言わない」ま



講師 榊先生

た、「自分がされてイヤなことはしない」ことを学びます。講演が終わると来場者の皆さんから、榊先生に大きな拍手喝さいが送られました。

最後に、鶴川地区町内会・自治会連合会 仲村清彦会長より、これからも地域の皆さんと共により良い日本をつくるために社明活動を行っていったら素晴らしいと思います。という閉会の辞で講演会は終了しました。

原町田ふれあいまつりに参加して

町田分区 久保寺 治

11月30日「原町田ふれあいまつり」に参加させていただきました。保護司会の広報、地域活動に参加するのは初めてで、先輩保護司



広報活動

の方々の指導の下、朝から会場全体の準備を行い、開会式とともに風船とチラシを配布し広報活動を行いました。地域活動により多くの皆様とのつながりを感じたとともに、先輩保護司の方々の会話から、保護司としての更生保護の大切さを学ぶことができました。私は昨年新任保護司として活動を始めましたが、それまでは保護司がど



集合写真

んなものなのかもわかりませんでした。今回の参加により、地道な広報活動の大切さを感じることができました。

つるまパーク大作戦

南分区長 宮本 幹雄

11月3日文化の日、3年ぶりに「つるまパーク大作戦」のイベントに参加し、“社会を明るくする運動”秋の広報・街頭活動を行いました。

当日は心配された前日からの雨も上がり、さわやかな秋晴れとなりました。中里会長、鶴舞

会根本施設長にも参加いただき、分区員10名にての活動。今回も親子連れが多く、特に子ども達に声を掛けられ元気を



ポップコーン販売

もらった事を覚えています。保護司パンフレットとグッズの配布、ポップコーン販売と多忙の時



分区員の皆さん

が瞬く間に過ぎ去り用意した配布物は14時過ぎに無事終了、ご協力頂いた会員の皆様お疲れ様でした。

鶴舞会「活動報告」

鶴舞会施設長 根本 英男

昨年11月の下旬のある日の夕方、当施設事務室窓外に座り込んで事務室内を覗いている人がいた。私と目が合うと玄関前に移動して佇み、しばらくして名前を述べ「部屋の電気と水が止められ、3日間何にも食べていない。ここまで歩いて来た。」と青白い顔に髭が伸びて、衣類は何日も洗濯をしていない姿の元寮生であった。食堂内に案内して、熱いお茶を差し出すと、礼を述べて飲み始めた。食事ができなかった理由を聞いたが、「お金が無くなった。市役所に行き、相談してもどうにもならない。」と述べるのみで、それ以上は答えなかった。その後は、近況や世間話をして40分程過ごし、就労すること。そして、市役所に行き相談するよう助言した。備蓄のインスタントラーメンやアルファ米など3日分を持たせると、感謝の言葉を述べて町田街道に向けて坂道をゆっくりと歩いていった。

年が明けた1月中旬の某日刊紙に小学生の少女が「魔法の言葉助けて」と題して投稿していた。悩み困ったときは「助けて」と手を挙げれば、誰かが助けてくれる。

あらためて退会者に対するフォローアップの大切さを確認した夕暮れであった。

協力事業主紹介

株式会社 グリーン・テクノ

代表取締役 高山 慎太郎 様



(1) どんなお仕事をされている会社ですか？

弊社は主に各法人様、個人邸の皆様方のお庭や敷地内の緑地管理や造園工事をさせて頂いております。

(2) 初めての人でも出来ますか？

勿論でございます！他業種の皆様も同じだと思いますが、初めは初歩的な仕事、掃除からになります。掃除からでも作業は徹底しております！

(3) 会社のアピールポイントは？

私が助けて頂いている元気な従業員です！皆が20代と30代で、気持ちのいい挨拶から一日が始まり、全力で綺麗な仕上がりをモットーにお仕事をさせて頂いております。

(4) なぜ、協力事業主に？

鶴川地区の保護司に私が20代の時からお世話になっており（保護観察ではありません！笑）仕事や従

業員数が足りない等の相談に乗って貰った話しの流れで協力事業主のお話を頂き協力する事となりました。

(5) 何か、伝えたいことがあれば…

父は石川県珠洲市で神職をしており、保護司でもあります。能登半島地震にて兼務している神社をはじめ、自宅・近所の方々、ほか多くの人々が被災をして地元を離れており、住民がいない状況です。田舎だから…かも知れませんが、人と人との繋がりを改めて痛感しているところです。何かの縁で町田に住み、今の自分が生かされている。これから更に、地元町田の為に何かお力になれることがあればお手伝いさせて頂く所存です。今後ともご指導・ご鞭撻の程、よろしくお願いいたします。

新任保護司ご挨拶



鶴川分区
安藤 元厚

保護司として、支援が必要な方々に寄り添いながら信頼関係を大切にしたい支援活動と、地域社会での役割に責任を持ち、日々の支援活動に取り組みたいです。学ばなければならない事が山のようにありますが、助け合いながら支援の質を高めたいと思います。宜しくお願い致します。

編集後記

私は寺の住職をしてありますが、お経（法華経）に『栴檀香風 悦可衆心』という経文があります。

「栴檀（せんたん科の落葉樹）の香りの風は、多くの人々の心を喜ばす」という意味ですが、良い香りは、人々を楽しませ、又心を清らかにすると言う事です。

春を迎え、花と新緑の季節が参ります。五感で季節を感じ清らかな心で過ごし、明るい社会を目指しましょう。 広報部 梅本明宏

退任保護司ご挨拶

鶴川分区
梅木 信一

令和6年12月21日で、22年間の保護司を退任いたしました。様々な対象者と向き合う中で、貴重な社会体験をさせて頂きました。更に町田地区保護司会40周年記念誌の編集など、保護司会の皆さまとの交流や活動に心から感謝しております。

鶴舞会
青木 和男

令和6年11月をもちまして、退任させて頂きました。私にとりまして、2年間の町田地区での短い保護司活動ではございましたが、地域住民の方々との連携の仕方など多くのことを学ぶ機会でもありました。12月より府中地区で保護司活動を継続する所存です。機会がありましたら、ぜひ一緒に何かできたら嬉しいです。

町田地区保護司会の移転について

町田地区保護司会は、現在ある町田市教育センターの建て替え工事が終了するまでの間、令和7年4月1日より仮事務所として右記の住所に移転いたします。

町田地区保護司会

〒194-0202

東京都町田市下小山田4016 陶芸スタジオ内2F

E-mail : info@machidachiku-hogoshikai.jp